

地域の防災力を見直してみませんか

問 防災安全課防災係 ☎72-2111

大規模な災害発生時に救助活動などを行う「公助（消防・警察・自衛隊）」の力には限界があり、災害直後は被害に遭う人が多く出ることが予想されます。「公助」だけでは救助・援助する側の人手は足りなくなってしまう、災害時には「地域での助け合い（共助）」による地域の防災力が重要です。地域の防災力を強化するための市の取組を紹介します。



令和4年度からスタート

自主防災組織の初動マニュアル作成支援

地域の「初動マニュアル」は、災害発生時に、いつ・誰が・どのような活動をするかなどの基準を示すものです。マニュアルの作成により、効率よく組織的に対応することができます。具体的には、次のとおり作成支援をしています。

【主な支援内容・例】

・事前相談（現状の把握）

自主防災組織の課題などを洗い出し、取り組む内容やスケジュールを決めます。

・学習会の開催

自主防災組織の必要性や防災などの基礎的な説明を行い、防災に関する意識の向上を図ります。

・初動マニュアルの説明

マニュアルの趣旨や記載内容などを具体的に説明し、どこから作成するのかを提案します。

・机上訓練などの実施

マニュアルに記載する内容に沿った机上訓練などを行い、疑似体験します。

地域の「初動マニュアル」を作成しませんか？

マニュアルの作成主体は行政区ですが、防災安全課職員が行政区の実情に合った内容で、作成を支援します。不明な点などは、いつでもご相談ください。



防災安全課
野見山さん

マニュアル作成した区長のコメント



小学校区の中で、自分の行政区だけ自主防災組織に関する基盤が全くない状況でした。令和4年9月から市と協議を重ね、区の体制を有効に活用しながら作成していきました。

訓練や説明会で、区役員の防災意識の向上を図り、「できることから進めていくこと」を心がけて作成に取り組みました。

11月には区役員に対し、地域特性や被害状況を想定する「災害図上訓練」を実施し、初動マニュアルに掲載する防災マップを作成。令和5年3月の総会で承認を得て、区の各世帯に配布する予定です。



小郡市防災リーダーの育成



平成25年度から毎年11月に防災リーダー認定講習会を実施しています。2日間の講習で防災に関する基礎的な知識と技能を習得した人を小郡市防災リーダーに認定します。

これまで約280人の防災リーダーが誕生し、地域の自主防災の担い手として、さまざまな場面で活躍中です。



○防災リーダーの役割

【平常時】

研修会の企画、防災訓練の企画・実施、自主防災組織の活動基盤の作成など



【災害時】

自主防災活動の本部要員や現場班長、初期消火・救助活動、負傷者の応急手当・搬送、住民の避難誘導など



○地域と共催で防災リーダー認定講習会を実施

令和3年度から、市とのぞみが丘小学校区協働のまちづくり協議会(防災部会)は、地域版の防災リーダー認定講習会を開催。講習会は、市で実施している認定講習会の内容に、地域特性や取組状況などを加え、防災リーダーとして地域の実態に応じた活動内容が具体的に分かるように開催しています。

講習会を開催して見えたこと



- 受講者同士の顔の見える関係作りができた
- 自分が住んでいる地域特性や活動状況の把握ができた
- 防災リーダーとして、自主防災組織の活動内容が分かった



出前講座・防災訓練の支援

防災意識の向上を図るため、出前講座・研修会や防災訓練の支援を行っています。企画・立案から実施まで、職員が一緒に行います。「こんな研修会を開いてみたい」や「防災訓練を企画したい」など、気軽にご相談ください。

出前講座・研修会(例)

- 自主防災の必要性について
- 地震や水害、備蓄について など



▲防災研修の様子

訓練等(例)

災害図上訓練(DIG)

地図を使って防災対策を考える訓練です。地図に書き込みながら議論し、楽しく防災を学べます。

避難所運営訓練(HUG)

避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応するかを、カードを使って疑似体験し、ゲーム形式で訓練できます。

災害対策本部運営訓練(イメージTEN)

災害時に、自主防災組織がどのように対応したらいいかを、時系列で疑似体験できます。具体的で実践的な対策ができます。

避難訓練(地震・水害)など